

平成30年度 島根県の医師確保対策の取組状況について

1. 島根県地域医療支援会議の開催(2回開催)

- 地域勤務医師(義務年限内自治医科大学卒業医師)の派遣
- 地域医療支援センター活動状況
- 医療介護総合確保促進法に基づく県計画の審議
- 勤務医師実態調査の調査結果 等

2. 赤ひげバンク(医療従事者無料職業紹介所)

(1) 赤ひげバンク登録者数(平成31年2月末現在)

職種	人数	職種	人数	
医師	438	看護師	8	合計 1,435
歯科医師	7	その他医療従事者	9	
医学生	720	看護学生等	253	

※機関紙、医師求人情報等を提供している人数

(2) 医師面談実績(新規分)(平成31年2月末現在)

診療科	人数	診療科	人数	
内科	8	総合診療科	1	合計 15
外科	2	救急科	1	
整形外科	1	麻酔科	1	
眼科	1			

※訪問等により面談した人数

(3) 地域医療視察ツアー実績(件数)(平成31年2月末現在)

圏域	件数	圏域	件数			
松江圏域	3	大田圏域	1	隠岐圏域	5	合計 20
雲南圏域	2	浜田圏域	1			
出雲圏域	8	益田圏域				

※1人の医師が複数の圏域を視察した場合は、各圏域に計上。

(4) 医師招へい実績(平成31年2月末現在)

圏域名	人数	内訳							
		地域	専門診療科	年代	性別	勤務形態	赴任時期		
雲南圏域	2	三重県	外科	50代	男	病院	常勤	H30.10~	合計 14
		沖縄県	総合診療科	20代	男	病院	常勤	H31.4~	
出雲圏域	5	鳥取県	神経内科	30代	女	病院	常勤	H30.11~	
		神奈川県	小児科	20代	男	病院	常勤	H30.10~H31.3	
		福島県	消化器外科	30代	男	病院	常勤	H31.4~	
		広島県	救急・集中診療科	30代	男	病院	常勤	H31.7~	
		広島県	総合診療科	20代	男	病院	常勤	H31.4~	
大田圏域	3	大阪府	内科	50代	男	病院	常勤	H30.10~	
		群馬県	精神科	30代	男	病院	常勤	H30.11~	
		広島県	循環器内科	50代	男	病院	常勤	H31.4~	
益田圏域	1	三重県	内科	30代	女	公益法人	非常勤	H30.7~	
隠岐圏域	3	大阪府	内科	20代	男	病院	常勤	H31.4~	
		愛知県	内科	60代	男	診療所	常勤	H31.4~	
		大阪府	精神科	60代	男	病院	非常勤	H31.4~	

(5) 広報等

- ・県ホームページでの求人(通年)
- ・機関紙「島根の地域医療」の発行(年4回)
- ・「日本医事新報」、「メディカルトリビューン」等への医師募集広告掲載
- ・民間転職サイトに島根県特集ページを開設(メディカル・プリンシプル社、【新】メディカルキャスト) 赤ひげバンクPR、県の医師支援情報や求人情報掲載、メールマガジン配信等を実施
- ・【新】学会ブース出展(日本小児科学会学術集会、日本プライマリ・ケア連合学会学術大会)
- ・各種シンポジウム、研修会等での講演(平成31年2月末現在 7回)



民間求人サイトの活用



学会ブース出展

3. 研修サポート制度(地域勤務医師確保枠)

地域医療に将来携わる医師、専門研修を希望する医師を招へいし、県立病院で研修後、地域勤務。

4. 小・中・高校生への動機付け

- ・【小中学生】「ふるさと教育」(「地域医療」をテーマとした授業の実施)
- ・【中学生】「メディカル・アカデミー」(合宿形式) 8月9日～8月11日
(サンレイク、島根大学医学部附属病院、県立中央病院、出雲市立総合医療C 40名参加)
- ・【中学生】「学びの力向上チャレンジセミナー」 8月1日～3日(少年自然の家 52名参加)
- ・【中学生】「地域医療現場体験事業」 7月～8月(17医療機関 61名参加)
- ・【高校生】「医療現場体験セミナー」
夏季(13病院 53名参加)、冬季(3病院 12名参加)、春季(6病院で計画。現在募集中)
- ・【高校生】「夢実現進学チャレンジセミナー」 12月25日～27日
(サンレイク、島根大学医学部附属病院、出雲市立総合医療C 30名参加)
- ・県内高校での地域医療・奨学金制度の説明会(7校 86名参加)

【参考 県内高校からの医学部進学状況】

年度	進学者数	進学先			
		うち島根大学	うち鳥取大学	うち自治医科大学	その他
H12	41	20	6	2	13
H13	42	18	11	2	11
H14	33	11	7	2	13
H15	31	11	6	2	12
H16	23	9	4	2	8
H17	25	6	9	3	7
H18	36	23	8	2	3
H19	36	24	3	2	7
H20	42	23	2	2	15
H21	53	26	9	3	15
H22	53	28	6	2	17
H23	48	27	8	3	10
H24	53	30	7	1	15
H25	47	24	10	3	10
H26	52	33	9	3	7
H27	30	14	3	3	10
H28	39	23	6	3	7
H29	41	22	6	3	10
H30	50	28	12	2	8

5. 医学生向け奨学金

[平成30年度新規貸与枠32名]

(1) 医学生地域医療奨学金(H18～)

・・・ H30新規貸与実績29名(平成31年1月末現在)

- ・対象者 :①島根大学医学部医学科地域枠推薦入学者
:②島根大学医学部医学科緊急医師確保対策枠推薦入学者(H21～)
:③島根大学医学部医学科県内定着枠入学者(H23～)
:④全国の医学生及び大学院生
:⑤鳥取大学医学部医学科島根県枠入学者(H22～)
- ・貸与額 :①～④入学金相当額282千円、月額100千円、授業料相当額535,800円/年
:⑤入学金相当額282千円、月額100千円
- ・返還免除:①～④卒業後12年以内に初期臨床研修期間を含む9年間(うち4年間は特定地域)、県内指定医療機関で勤務
:⑤卒業後12年以内に6年間(うち3年間は特定地域)、県内指定医療機関で勤務

(2) へき地医療奨学金(H14～H17)

- ・対象者 :県内居住医学生、県内高校卒業生
- ・貸与額 :入学金相当額282千円、月額100千円
- ・返還免除:初期臨床研修後、貸与期間の2倍の期間内に、貸与期間と同年数、へき地指定医療機関勤務

(3) しまね医学生特別奨学金(H18～H21)

- ・対象者 :島根大学医学部1～5年生
- ・貸与額 :1年度1,500千円(2年度貸与可)
- ・返還免除:初期臨床研修後、県内指定医療機関で引き続き6年間勤務

(4) 特定診療科医師緊急養成奨学金(H22～H25)

- ・特定診療科 :産婦人科、小児科、外科、精神科、麻酔科、救急科、泌尿器科、腎臓(内)科、眼科、耳鼻咽喉科
- ・貸与額 :1年度3,000千円
- ・返還免除 :卒業後、県内指定医療機関で初期臨床研修を実施し、その後引き続き3年間勤務

【医学生奨学金貸与者の状況(H31年1月末現在)】

(単位:人)

区分	H30 定員枠	医学生							医師							返還 ③	合計 (①+②+③)	(再帰) 返還 免除者	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	①	初期 1年目	初期 2年目	卒後 3年目	卒後 4年目	卒後 5年目	卒後 6年目	卒後 7年以上				②
計	32	26	27	34	25	28	38	178	32	28	19	26	15	11	34	165	28	371	16

【現行分】

医学生地域医療奨学金(H18～)	27	21	22	28	19	24	28	142	24	21	19	17	12	9	19	121	21	284	8
島根大学地域枠(H18～)	10	9	9	10	5	6	12	51	10	7	10	10	8	6	3	54	2	107	
〃 県内定着枠(H23～)※	7	7	8	8	8	6	7	44	4	6						10	2	56	
鳥取大学島根県枠(H22～)※	5	5	1	3		4	4	17	3		2					5	1	23	
全国大学枠その他(H18～)	5		4	7	6	8	5	30	7	8	7	7	4	3	16	52	16	98	8
緊急医師確保対策奨学金(H21～)※ [島根大学]	5	5	5	6	6	4	8	34	6	7		3				16		50	

【制度終了分】

へき地医療奨学金(H14～17)							2	2	2			6	3	2	15	28	7	37	8
しまね医学生特別奨学金(H18～21)																			
特定診療科医師緊急養成奨学金(H22～H25)																			

(注) ※は国の医学部定員の暫定増によるものを示す。

6. 自治医科大学

- ・負担金 134,000千円/年
- ・大学説明会の実施(7月～8月 県内4会場 72名参加)
- ・平成31年度自治医科大学第1次試験(1月28日～29日 ホテル一畑)
- ・自治医科大学卒業生の動向

【平成31年4月1日予定】

	島根県内					県外			合計	死亡
	県立病院	その他の病院	診療所	行政	小計	自治医大	その他	小計		
義務年限内	7 [うち5人は初期研修/ 2人は後期研修]	10	1	2	20	0	2	2	22	0
義務年限後	8	24	1	7	40	1	24	25	65	3
合計	15	34	2	9	60	1	26	27	87	3

※義務年限後の残留率 $40/65=61.5\%$

(注) 上記には産休育休中の者を含む。

7. 研修医等の県内定着に向けた取り組み

- ・しまね研修ナビ[初期臨床研修プログラム説明会]
(5月25日 於:島根大学医学部 64名参加)
- ・しまね専門研修プログラム説明会
(8月9日 於:サンラポーむらくも 初期研修医12名参加)
- ・医学生地域医療実習 (夏季:8月 31名参加 春季:3月 20名参加予定)
- ・臨床研修指導医講習会 (11月4日～11月5日 於:島根大学医学部 41名参加)
- ・しまね研修ナビ[国試対策セミナー、臨床研修病院説明会]
(2月15日 於:島根大学医学部 57名参加)

【初期臨床研修医マッチ率及び後期研修医数】

	初期臨床研修医		
	定員	マッチ	マッチ率
H15(H16研修医)	88	51	58%
H16(H17研修医)	90	42	47%
H17(H18研修医)	92	61	66%
H18(H19研修医)	90	51	57%
H19(H20研修医)	95	40	42%
H20(H21研修医)	95	47	49%
H21(H22研修医)	100	31	31%
H22(H23研修医)	96	45	47%
H23(H24研修医)	97	50	52%
H24(H25研修医)	87	48	55%
H25(H26研修医)	87	49	56%
H26(H27研修医)	95	54	57%
H27(H28研修医)	97	51	53%
H28(H29研修医)	96	58	60%
H29(H30研修医)	83	61	73%
H30(H31研修医)	86	64	74%

後期研修医	
研修開始年度	人数
H18	36
H19	22
H20	43
H21	37
H22	24
H23	44
H24	25
H25	31
H26	32
H27	31
H28	38
H29	41
H30	36
H31	
H32	
H33	

8. 専門医制度

- 平成31年度 県内専門研修プログラム 18診療領域、基幹施設10施設・35プログラム
- 島根県専門研修プログラム協議会(9月19日 於:出雲医師会館・TV会議)
厚生労働省から情報提供のあった19診療領域の専門研修プログラムの確認及び検証を実施。

9. 研修医向け貸付金

(1)①初期研修医向け(H22～H25)

- ・貸与額 :1年度1,500千円
- ・返還免除:初期臨床研修後、県内の指定医療機関で3年間後期研修を受けること

②産婦人科を志す初期研修医向け(H23～H25)

- ・貸与額 :1年度3,000千円
- ・返還免除:初期臨床研修後、県内の指定医療機関で5年間産婦人科医として勤務(うち2年間はへき地)

(2)後期研修医向け(H22～H27)

- ・貸与額 :1年度3,000千円(上限2年度まで貸与可)
- ・返還免除:後期研修後、県内の過疎地域に所在する特定地域医療機関で貸与回数に対応する年数と同期間勤務。過疎地域に所在する医療機関を除く指定医療機関において貸与回数に対応する年数の1.5倍の期間勤務。

(3)産婦人科等研修医向け(H29～)

- ・貸与額 :1年度2,400千円(初期・後期とも)
- ・返還免除:
(初期)初期臨床研修後、県内の指定医療機関の産婦人科で3年間勤務
(後期)後期研修後、県内の過疎地域に所在する特定地域医療機関の産婦人科で貸与回数に対応する年数と同期間勤務。または、過疎地域に所在する医療機関を除く指定医療機関の産婦人科において貸与回数に対応する年数の1.5倍の期間勤務。

【貸与実績】(平成31年1月末現在)

初期研修医向け:16名(H22:6名、H23:7名、H24:3名、H25:0名)
後期研修医向け:28名(H22:6名、H23:7名、H24:9名、H25:2名、H26:2名、H27:2名)
産婦人科等研修医向け:4名(H29:3名、H30:1名)

10. しまね地域医療の会

- ・第1回:6月30日(土) 出雲医師会館 44名、隠岐病院 4名・島前病院 2名(TV会議)
- ・第2回:2月2日(土) 出雲医師会館 46名、隠岐病院 1名・島前病院 1名(TV会議)



11. 地域医療拠点病院

圏域	病 院 名	指定日
松江	松江赤十字病院	H15.4.1
	安来市立病院	H15.4.1
	社会医療法人昌林会 安来第一病院	H22.1.1
雲南	雲南市立病院	H16.2.12
	奥出雲町立奥出雲病院	H16.2.12
	飯南町立飯南病院	H16.2.12
	医療法人陶朋会 平成記念病院	H19.8.30
出雲	県立中央病院	H15.4.1
	島根大学医学部附属病院	H16.2.12
	出雲市立総合医療センター	H16.2.12
大田	公立邑智病院	H15.4.1
	医療法人仁寿会 加藤病院	H15.4.1
	大田市立病院	H18.7.31
浜田	独立行政法人国立病院機構浜田医療センター	H15.4.1
	社会福祉法人恩賜財団島根県済生会江津総合病院	H20.1.1
	社会福祉法人島根整肢学園西部島根医療福祉センター	H20.4.1
益田	公益社団法人益田市医師会立益田地域医療センター医師会病院	H15.4.1
	益田赤十字病院	H22.1.1
	社会医療法人石州会 六日市病院	H22.1.1
隠岐	隠岐広域連立立隠岐病院	H15.4.1
	隠岐広域連立立隠岐島前病院	H16.7.14
合計	指定病院 21	

12. 代診医の派遣(平成31年1月末現在)

年度	延べ日数	派遣診療科 内訳			
		総合診療科	産婦人科	精神科	外科
20	280	90	20	152	18
21	301.5	93.5	21	172	15
22	464	203	38	215	8
23	697	323	13	355	6
24	496	118	37	241	0
25	458	203	10	245	0
26	603	233	0	258	112
27	412	129	74	209	0
28	362	148	0	214	0
29	393	264	0	116	13
30	286	227	0	48	11

13. 医療介護総合確保促進計画に基づく事業

- ・島根大学医学部寄附講座の設置
- ・医学生向け奨学金の貸与
- ・研修医向け研修資金の貸与
- ・地域医療支援センターの運営
- ・地域が行う医療従事者確保の取組みへの支援 等

14. 国への要望

- ・県の重点要望[厚生労働省、文部科学省](5月、11月)
 - ①国においては、医師の地域偏在解消に向けた医療法及び医師法が改正されたところであるが、引き続き、医学部の地域枠のあり方や医療従事者の働き方改革に係る検討も含め、医療人材の偏在解消など地域医療の確保に向けた施策を強力に推進すること。
特に、医師少数区域での勤務経験のある医師を病院管理者の要件とする新たな制度については、対象を地域医療支援病院など一部の病院に限らず、すべての病院に拡大するなど実効性のあるものとする。
 - ②平成30年度に開始された新たな専門医制度においては、都市部に専攻医が集中したことから、医師の地域偏在・診療科偏在につながらないよう、国が責任をもって都道府県別・診療科別の研修定員の設定を行うなど必要な措置を講じること。
 - ③医師養成体制の充実や大学によるへき地医療支援を促進すること。 など
- ・全国衛生部長会から医師や看護職員の確保・育成について国へ要望(5月、2月)
- ・全国知事会から医師や看護職員等医療従事者の養成・確保について国へ要望(8月)
- ・中国地方知事会から地域医療確保に向けた国の施策に関する提案(8月)